

民生委員の協力のもと開催 MCS税理士法人 主催 地域包括ケア勉強会

猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。7月22日(土)にMCS税理士法人様が一般社団法人えんまん遺言相続支援センター様と一緒に、さいたま市の西区(指扇)にて地域包括ケア勉強会を開催しましたので、ご報告をさせていただきます。

当日は医療法人博眞会 湯澤医院様が運営しておりますデイケア施設、デイホームまみやを会場に「生前整理の必要性と必ずやっておきたい4つの項目」というテーマで、遺品整理士の桜井嗣実先生(TCワークス株式会社 代表取締役)を講師に迎え、地域の方々を対象にセミナーを開催しました。

MCS税理士法人の丸山定夫先生より今回の開催の趣旨や今後の計画(4回シリーズ)などの説明があり、続いて「一般社団法人 えんまん遺言相続支援センター」、税理士の舛田義行先生より支援センターの活動内容等の紹介を行いました。配布資料の中には今回のレジュメはもちろんの事、同支援センターの紹介ハンドブックや冷蔵庫などに貼っていただけるマグネット式の連絡先を明記したものを準備するなど、工夫した内容のものに参加者の皆様へ配布をしていました。



【当日の配布資料】

勉強会の内容は、遺品整理の前の生前整理にスポットをあて、その業務内容について、写真を活用して実例を紹介しながら、その気はなくてもいつの間にかゴミ屋敷へと変貌してしまう危険性などについても講演を行いました。ポイントとして、①財産目録の作成、②1年以上使用していないものの整理、③日用品の買い溜め、④デジタル品の処分などをあげました。普段の生活の中でできることやその対処方法などを説明し、参加者からも着なくなった着物やスーツの処分やリサイクルの方法、写真やお雛様などの思い出品の整理の仕方などの質問が出るなど、非常に関心の高い内容だったと思います。また、インターネットバンキングの普及によりパスワードの設定などを忘れてしまう方が多く、そういったデジタル品への対処方法などの注意の仕方などについても関心が高かったと思います。



【舛田先生と丸山先生】



【多くの参加者となりました。】



【講師の桜井嗣実先生】

今回のセミナーについては地元の地域包括支援センターに協力を得て、民生委員の方々から地域の皆様への発信を行いました。その結果、当日の参加者も30名を超える参加者となり、会場は満席でした。改めて、地元を支えている地域包括支援センター、民生委員の方々の情報発信力の高さというのを感じました。このシリーズは今後、4回に渡り、開催を予定しているそうです。次回は9月16日(土)に「今話題の空き家に係る税金あれこれ」をテーマに一般社団法人えんまん遺言相続支援センターの舛田義行先生より講演を行う予定です。MCS税理士法人様、一般社団法人えんまん遺言相続支援センター様の今後の活動に注目させて頂くと同時にこの場を通して報告をさせて頂きたいと思います。